

福岡空港調査 P I 有識者委員会 委員長談話

平成 2 1 年 1 月 1 9 日

この委員会は、平成 1 6 年以降、福岡空港の総合的な調査に係るパブリック・インボルブメント、いわゆる P I が適切に行われているかどうかの監視と、より良い P I を目指してアドバイスすることを任務としてまいりました。

本日、最終段階であるステップ 4 の P I の実施結果に関する審議を終えることができましたので、ステップ 1 からステップ 4 までの P I を通しての感想をいくつか申し上げたいと思います。

第 1 番目は、今回の試みは、大規模空港の総合的調査を P I を踏まえて行うという我が国で最初の試みであります。この P I 活動は、多くの方々の協力によってここまで到達できたのではないかと考えています。まず、お忙しい中、色々な P I の催しの場に足を運んでくださりご意見をお寄せいただいた非常に多くの方々にお礼を申し上げたいと思います。また、P I の企画運営を直接担当された福岡空港調査連絡調整会議の方々、そして有識者委員会委員の皆さんにお礼を申し上げたいと思います。無事、有識者委員会の委員長を務めることができました。ありがとうございました。

第 2 番目は、福岡空港の P I が透明な形で進められてきたことは、強調できるのではないかと思います。予め 4 つのステップという P I 自体の進め方を示した上で、それぞれの実施計画と評価の視点について一つ一つ私どもの点検を受け、また実際の P I の実施に際しても、意見募集の途中にそれまでに寄せられたご意見を整理しそれに対する考え方を併せて公表するなど、一方通行的な情報公開にとどまらない一歩踏み込んだ透明性あるコミュニケーションを確保して P I を進める努力を積み重ねてきたことは評価できると思います。

第 3 番目は、P I そのものがステップを追う毎に進化してきたことです。ステップを進める際に、また個々の現場においても、多くの方々から寄せられたご意見や私ども有識者委員会の評価、助言を真摯に受け止め、周知広報や情報提供方法の改善、様々な催しや出前説明会の導入な

どのP I手法の改善、あるいは現場で説明の仕方やスライドの作り方など色々な工夫をされたと思います。その結果、ご意見数の増加、ご意見をお寄せいただいた方の年齢や職業の多様性の拡大、提供された情報についての評価の向上などにあらわれていると思います。この種のP I活動は我が国で最初の試みであり私自身手探りで進めてきたというのが正直な感想ですが、この試みが一つの類型を提示しえたのではないかと思います。

第4番目は、寄せられたご意見は任意の提出によるもので、いわゆる世論調査ではありませんので、統計的な代表意見ではないことに注意すべきことを強調しておきたいと思います。このような限界はありますが、情報提供の量や範囲、ご意見の数が非常に多いこと、また内容的にも課題や懸念、希望など極めて広範に及んでいることを考えますと、寄せられたご意見は非常に貴重です。今後、福岡空港の対応案について、関係機関において民意、政策的な視点、技術的な視点などから総合的な判断が行われると思いますが、寄せられたご意見やP I活動の成果を十分に参考としていただきたいと思います。

最後ですが、総合的な調査後、引き続き構想段階の検討、施設計画段階の検討へと続いていくと思います。これまでに培われた知見やノウハウ、あるいは色々な市民の方との関係を大事にして、さらに踏み込んだP I活動を進めていただきたいと思います。